

PFI事業改善WG

プロセス、VFMを適正化

内閣府

内閣府は、7月をめどに打ち出すPFI事業の改善方策に向けて、プロジェクトとVFM（バリューア・フォーム）の2つのワーキンググループを設置する。ワーキンググループは3月から5月頃まで5回程度開き、特に要求水準に見合った予定価格設定など民間負担を軽減する「要求水準書作成指針」作業を優先的に進める方針。

プロジェクトは、主に

要求水準書作成指針と標準契約書モデル・解説の策定作業を行う。官側から民間事業者に示す要求水準書は、高い要求水準

に見合わないと予定価格設定や管理者側の意図を完全に把握できない指摘が出ていた。PFI事業アロセス全体の改善策では民間事業者の創意工夫の發揮や応募しやすい環境を整える。

入札公告時に発注者側が公表する要求水準書の作成指針は、予定価格と要求水準の整合性確保と民間事業者が把握しやすい内容を標準化する狙い。事業にかかるコストと要求水準内容を明確化して、民間事業者の提案にかかる負担を軽減する。

プロジェクトWGは、主に

標準契約書モデル・解説の策定作業を行う。官側か

ら民間事業者に示す要求

水準書は、高い要求水準

の作成は、諸外国のPFI先進国への動向を踏まえ、自治体など発注者の独自裁量を確保しながらも標準化による契約書作成手続きの簡素化が目的。自治体ならびに公共発注者が手続を容易にするため導入を敬遠する動きも出ており、発注者側の負担を軽減する。

もう一方のVFMワーキンググループは、VFM

算出の透明性・客観性を確保やVFM評価を検討する。WGは発注機関や学識経験者等の意見を聴取した後に、具体的なVFM改善施策をガイドラインに盛り込む。

標準契約書モデル・解説の策定作業を行う。官側から

民間事業者に示す要求

水準書は、高い要求水準

ハラ不足のためコンサルタントを利用するケースが多く、従来の公共事業とPFI事業とで比較して、PFI事業の改善効果額を公表している事業はわずかだった。このため改善勧告では、ガイドラインに具体的なVFM算出方法を明示、VFM算出例を蓄積・公表するなど支援方策を充実さ

せるとともに、VFMの算出過程や算出方法を公表する措置を求めた。

7月の推進委員会で

は、2WGの検討成果を

公表するほか、地球温暖化防止対策、官民連携手

法、PFI支援措置のイ

ンフットプリント（同

条件）実現策ならびに

PFI事業の改善策を明らかにする予定。

昨年改定したVFMのガイドラインでは事業企画、特定事業評価、事業者選定の各段階においてVFM評価を行うべきとして、導入可能性検討調査の重要性を強調した。

今回VFM検討は昨年

積み残した課題を継続審

議するほか、総務省から

の政策評価結果に基づく

改善勧告内容を6月をめどりまとめる。

FPI事業の改善策を明らかにすることを目的とする。

1月に公表した総務省

のPFI事業に関する政

策評価では、調査結果か

らVFM算出の客観性・

透明性の確保が不十分と

指摘。発注者側はVFM

算出に必要な知識・ノウ